

第3次総合計画 序論・基本構想 骨子について

目次

序論

第1章 計画策定にあたって

1. 計画の背景と目的
2. 計画の構成と期間
3. 他の計画との関連性

第2章 現状と課題

1. 社会動向
2. 築上町の現状
3. 住民アンケート調査結果
4. 第2次総合計画振り返り

基本構想

第1章 町の目指す姿

1. 築上町の将来像（基本理念）

まちづくりの方向性

1. 6つの基本目標
2. 施策体系イメージ

序論

1. 計画の背景と目的

- 総合計画とは、本町の将来の行政需要やそれを踏まえたまちづくりの方向性を住民と共有するとともに、これからの町政運営全般についての指針となるもので、町の最上位計画として位置付けられます。
- 本町では、町制施行以来、第2次までの総合計画を策定し、「自然と歴史・文化を育む」一心と体の健康を求めた『豊かな生活の場』づくりなどの将来像を掲げて、計画的な町政の運営と住民福祉の向上に努めてきました。
- このような社会情勢の変化を踏まえながら、町の持続可能性の確保と住民主体の取組への移行を軸に、様々な課題を克服し豊かな地域づくりを進めることを目的とし、今後10年間の総合的なまちづくりの指針となる「第3次築上町総合計画」を策定します。

2. 計画の構成と期間

- 第3次築上町総合計画は、以下の「基本構想」及び「基本計画」の二層をもって構成されます。

○基本構想

- 本町の目指すまちの将来像とその実現に向けた基本的な方向性を示すものです。

【計画期間】令和9年（2027年）度から令和18年（2037年度）度までの10年間

○基本計画

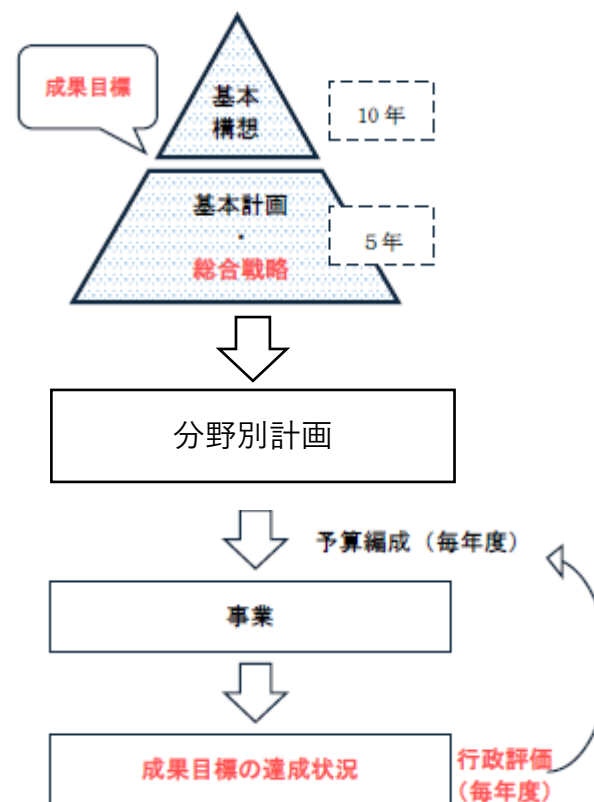
- 基本構想で示されたまちづくりの基本的な方向性を踏まえ、その実現に必要な施策を分野別に体系化し、各施策分野の現状と課題、今後の主要な取組について示すものです。

【計画期間(前期)】令和9年（2027年）度から令和13年（2032年度）度までの5年間

令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年	令和16年	令和17年	令和18年
基本構想（令和9～18年度）									
前期基本計画 （令和9～13年度）					後期基本計画 （令和14～18年度）				

3. 他の計画との関連性

- 本町では、まち・ひと・しごと創生法に基づき第3期築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定・推進していますが、計画行政の効率化と地方創生の取組の一層の推進を図る観点から、第3次総合計画と一体化させることとします。
- 第3次総合計画基本計画における「分野横断的プロジェクト」を「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置付けることとします。
- その他、各分野の個別計画の具体的な取組については、「築上町総合計画」に掲げるそれぞれの分野の施策と連動し取り組みます。



「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を総合計画に一体化するにあたり、基本計画において各分野の施策を横断するプロジェクトとして位置づけ、各施策との関係を整理する見通しです。

別添1

他自治体の事例（イメージ）

<他自治体総合計画事例 目次>

第1次基本計画

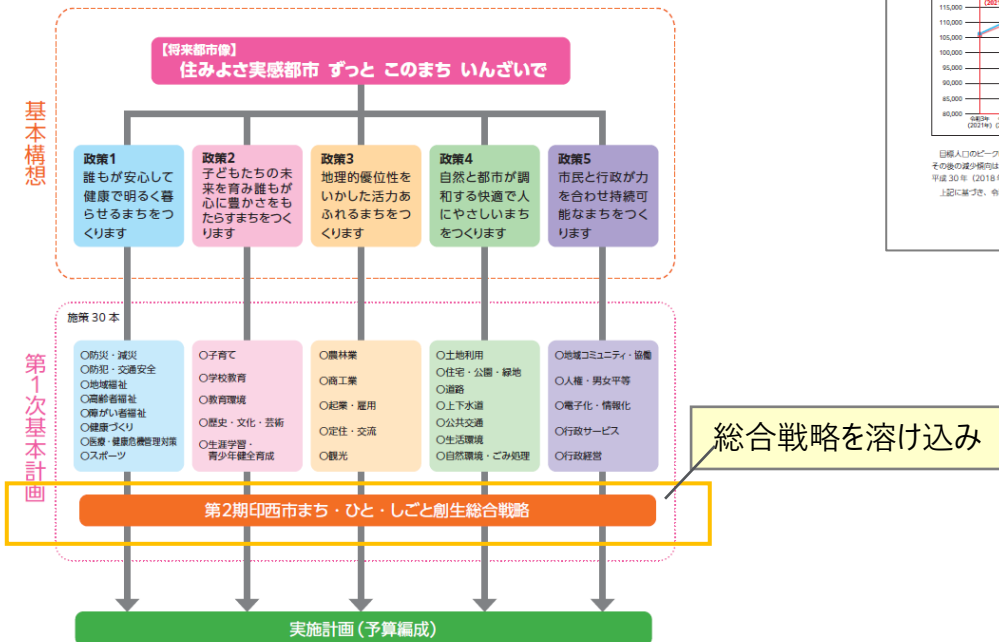
- 第1章 基本計画の位置付け 48
- 第2章 伊西市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 50
- 第3章 SDGsの達成に向けた取組の推進 57
- 第4章 分野別計画 61

政策 1. 誰もが安心して健康で明るく暮らせるまちをつくります【安全・安心・健康福祉】

- 1-1 防災・減災対策の強化 66
- 1-2 防犯・交通安全対策の強化 68
- 1-3 地域共生社会の実現 70

<他自治体総合計画事例 全体像>

【伊西市総合計画における基本計画の位置付け】



<他自治体総合計画事例（一部抜粋）>

3 目標人口の
第2期市総合戦略の推進
本市における将来人口の
基本構想の「将来人口の
目標人口は、第2期市
政基本計画で示した通り

3 目標人口の
第2期市総合戦略の推進
本市における将来人口の
基本構想の「将来人口の
目標人口は、第2期市
政基本計画で示した通り

第2章 伊西市まち・ひと・しごと
創生総合戦略の推進

4 第2期市総合戦略の
推進
目標人口を達成するため、国及び県の
支援を受け、4つの基本目標及び基本目標
を推進し、各基本目標において設定する別
表1-1、表1-2、表1-3、表1-4、表1-5、表1-6、表1-7、表1-8、表1-9、表1-10、表1-11、表1-12、表1-13、表1-14、表1-15、表1-16、表1-17、表1-18、表1-19、表1-20、表1-21、表1-22、表1-23、表1-24、表1-25、表1-26、表1-27、表1-28、表1-29、表1-30、表1-31、表1-32、表1-33、表1-34、表1-35、表1-36、表1-37、表1-38、表1-39、表1-40、表1-41、表1-42、表1-43、表1-44、表1-45、表1-46、表1-47、表1-48、表1-49、表1-50、表1-51、表1-52、表1-53、表1-54、表1-55、表1-56、表1-57、表1-58、表1-59、表1-60、表1-61、表1-62、表1-63、表1-64、表1-65、表1-66、表1-67、表1-68、表1-69、表1-70、表1-71、表1-72、表1-73、表1-74、表1-75、表1-76、表1-77、表1-78、表1-79、表1-80、表1-81、表1-82、表1-83、表1-84、表1-85、表1-86、表1-87、表1-88、表1-89、表1-90、表1-91、表1-92、表1-93、表1-94、表1-95、表1-96、表1-97、表1-98、表1-99、表1-100、表1-101、表1-102、表1-103、表1-104、表1-105、表1-106、表1-107、表1-108、表1-109、表1-110、表1-111、表1-112、表1-113、表1-114、表1-115、表1-116、表1-117、表1-118、表1-119、表1-120、表1-121、表1-122、表1-123、表1-124、表1-125、表1-126、表1-127、表1-128、表1-129、表1-130、表1-131、表1-132、表1-133、表1-134、表1-135、表1-136、表1-137、表1-138、表1-139、表1-140、表1-141、表1-142、表1-143、表1-144、表1-145、表1-146、表1-147、表1-148、表1-149、表1-150、表1-151、表1-152、表1-153、表1-154、表1-155、表1-156、表1-157、表1-158、表1-159、表1-160、表1-161、表1-162、表1-163、表1-164、表1-165、表1-166、表1-167、表1-168、表1-169、表1-170、表1-171、表1-172、表1-173、表1-174、表1-175、表1-176、表1-177、表1-178、表1-179、表1-180、表1-181、表1-182、表1-183、表1-184、表1-185、表1-186、表1-187、表1-188、表1-189、表1-190、表1-191、表1-192、表1-193、表1-194、表1-195、表1-196、表1-197、表1-198、表1-199、表1-200、表1-201、表1-202、表1-203、表1-204、表1-205、表1-206、表1-207、表1-208、表1-209、表1-210、表1-211、表1-212、表1-213、表1-214、表1-215、表1-216、表1-217、表1-218、表1-219、表1-220、表1-221、表1-222、表1-223、表1-224、表1-225、表1-226、表1-227、表1-228、表1-229、表1-230、表1-231、表1-232、表1-233、表1-234、表1-235、表1-236、表1-237、表1-238、表1-239、表1-240、表1-241、表1-242、表1-243、表1-244、表1-245、表1-246、表1-247、表1-248、表1-249、表1-250、表1-251、表1-252、表1-253、表1-254、表1-255、表1-256、表1-257、表1-258、表1-259、表1-260、表1-261、表1-262、表1-263、表1-264、表1-265、表1-266、表1-267、表1-268、表1-269、表1-270、表1-271、表1-272、表1-273、表1-274、表1-275、表1-276、表1-277、表1-278、表1-279、表1-280、表1-281、表1-282、表1-283、表1-284、表1-285、表1-286、表1-287、表1-288、表1-289、表1-290、表1-291、表1-292、表1-293、表1-294、表1-295、表1-296、表1-297、表1-298、表1-299、表1-300、表1-301、表1-302、表1-303、表1-304、表1-305、表1-306、表1-307、表1-308、表1-309、表1-310、表1-311、表1-312、表1-313、表1-314、表1-315、表1-316、表1-317、表1-318、表1-319、表1-320、表1-321、表1-322、表1-323、表1-324、表1-325、表1-326、表1-327、表1-328、表1-329、表1-330、表1-331、表1-332、表1-333、表1-334、表1-335、表1-336、表1-337、表1-338、表1-339、表1-340、表1-341、表1-342、表1-343、表1-344、表1-345、表1-346、表1-347、表1-348、表1-349、表1-350、表1-351、表1-352、表1-353、表1-354、表1-355、表1-356、表1-357、表1-358、表1-359、表1-360、表1-361、表1-362、表1-363、表1-364、表1-365、表1-366、表1-367、表1-368、表1-369、表1-370、表1-371、表1-372、表1-373、表1-374、表1-375、表1-376、表1-377、表1-378、表1-379、表1-380、表1-381、表1-382、表1-383、表1-384、表1-385、表1-386、表1-387、表1-388、表1-389、表1-390、表1-391、表1-392、表1-393、表1-394、表1-395、表1-396、表1-397、表1-398、表1-399、表1-400、表1-401、表1-402、表1-403、表1-404、表1-405、表1-406、表1-407、表1-408、表1-409、表1-410、表1-411、表1-412、表1-413、表1-414、表1-415、表1-416、表1-417、表1-418、表1-419、表1-420、表1-421、表1-422、表1-423、表1-424、表1-425、表1-426、表1-427、表1-428、表1-429、表1-430、表1-431、表1-432、表1-433、表1-434、表1-435、表1-436、表1-437、表1-438、表1-439、表1-440、表1-441、表1-442、表1-443、表1-444、表1-445、表1-446、表1-447、表1-448、表1-449、表1-450、表1-451、表1-452、表1-453、表1-454、表1-455、表1-456、表1-457、表1-458、表1-459、表1-460、表1-461、表1-462、表1-463、表1-464、表1-465、表1-466、表1-467、表1-468、表1-469、表1-470、表1-471、表1-472、表1-473、表1-474、表1-475、表1-476、表1-477、表1-478、表1-479、表1-480、表1-481、表1-482、表1-483、表1-484、表1-485、表1-486、表1-487、表1-488、表1-489、表1-490、表1-491、表1-492、表1-493、表1-494、表1-495、表1-496、表1-497、表1-498、表1-499、表1-500、表1-501、表1-502、表1-503、表1-504、表1-505、表1-506、表1-507、表1-508、表1-509、表1-510、表1-511、表1-512、表1-513、表1-514、表1-515、表1-516、表1-517、表1-518、表1-519、表1-520、表1-521、表1-522、表1-523、表1-524、表1-525、表1-526、表1-527、表1-528、表1-529、表1-530、表1-531、表1-532、表1-533、表1-534、表1-535、表1-536、表1-537、表1-538、表1-539、表1-540、表1-541、表1-542、表1-543、表1-544、表1-545、表1-546、表1-547、表1-548、表1-549、表1-550、表1-551、表1-552、表1-553、表1-554、表1-555、表1-556、表1-557、表1-558、表1-559、表1-560、表1-561、表1-562、表1-563、表1-564、表1-565、表1-566、表1-567、表1-568、表1-569、表1-570、表1-571、表1-572、表1-573、表1-574、表1-575、表1-576、表1-577、表1-578、表1-579、表1-580、表1-581、表1-582、表1-583、表1-584、表1-585、表1-586、表1-587、表1-588、表1-589、表1-590、表1-591、表1-592、表1-593、表1-594、表1-595、表1-596、表1-597、表1-598、表1-599、表1-600、表1-601、表1-602、表1-603、表1-604、表1-605、表1-606、表1-607、表1-608、表1-609、表1-610、表1-611、表1-612、表1-613、表1-614、表1-615、表1-616、表1-617、表1-618、表1-619、表1-620、表1-621、表1-622、表1-623、表1-624、表1-625、表1-626、表1-627、表1-628、表1-629、表1-630、表1-631、表1-632、表1-633、表1-634、表1-635、表1-636、表1-637、表1-638、表1-639、表1-640、表1-641、表1-642、表1-643、表1-644、表1-645、表1-646、表1-647、表1-648、表1-649、表1-650、表1-651、表1-652、表1-653、表1-654、表1-655、表1-656、表1-657、表1-658、表1-659、表1-660、表1-661、表1-662、表1-663、表1-664、表1-665、表1-666、表1-667、表1-668、表1-669、表1-670、表1-671、表1-672、表1-673、表1-674、表1-675、表1-676、表1-677、表1-678、表1-679、表1-680、表1-681、表1-682、表1-683、表1-684、表1-685、表1-686、表1-687、表1-688、表1-689、表1-690、表1-691、表1-692、表1-693、表1-694、表1-695、表1-696、表1-697、表1-698、表1-699、表1-700、表1-701、表1-702、表1-703、表1-704、表1-705、表1-706、表1-707、表1-708、表1-709、表1-710、表1-711、表1-712、表1-713、表1-714、表1-715、表1-716、表1-717、表1-718、表1-719、表1-720、表1-721、表1-722、表1-723、表1-724、表1-725、表1-726、表1-727、表1-728、表1-729、表1-730、表1-731、表1-732、表1-733、表1-734、表1-735、表1-736、表1-737、表1-738、表1-739、表1-740、表1-741、表1-742、表1-743、表1-744、表1-745、表1-746、表1-747、表1-748、表1-749、表1-750、表1-751、表1-752、表1-753、表1-754、表1-755、表1-756、表1-757、表1-758、表1-759、表1-760、表1-761、表1-762、表1-763、表1-764、表1-765、表1-766、表1-767、表1-768、表1-769、表1-770、表1-771、表1-772、表1-773、表1-774、表1-775、表1-776、表1-777、表1-778、表1-779、表1-780、表1-781、表1-782、表1-783、表1-784、表1-785、表1-786、表1-787、表1-788、表1-789、表1-790、表1-791、表1-792、表1-793、表1-794、表1-795、表1-796、表1-797、表1-798、表1-799、表1-800、表1-801、表1-802、表1-803、表1-804、表1-805、表1-806、表1-807、表1-808、表1-809、表1-810、表1-811、表1-812、表1-813、表1-814、表1-815、表1-816、表1-817、表1-818、表1-819、表1-820、表1-821、表1-822、表1-823、表1-824、表1-825、表1-826、表1-827、表1-828、表1-829、表1-830、表1-831、表1-832、表1-833、表1-834、表1-835、表1-836、表1-837、表1-838、表1-839、表1-840、表1-841、表1-842、表1-843、表1-844、表1-845、表1-846、表1-847、表1-848、表1-849、表1-850、表1-851、表1-852、表1-853、表1-854、表1-855、表1-856、表1-857、表1-858、表1-859、表1-860、表1-861、表1-862、表1-863、表1-864、表1-865、表1-866、表1-867、表1-868、表1-869、表1-870、表1-871、表1-872、表1-873、表1-874、表1-875、表1-876、表1-877、表1-878、表1-879、表1-880、表1-881、表1-882、表1-883、表1-884、表1-885、表1-886、表1-887、表1-888、表1-889、表1-890、表1-891、表1-892、表1-893、表1-894、表1-895、表1-896、表1-897、表1-898、表1-899、表1-900、表1-901、表1-902、表1-903、表1-904、表1-905、表1-906、表1-907、表1-908、表1-909、表1-910、表1-911、表1-912、表1-913、表1-914、表1-915、表1-916、表1-917、表1-918、表1-919、表1-920、表1-921、表1-922、表1-923、表1-924、表1-925、表1-926、表1-927、表1-928、表1-929、表1-930、表1-931、表1-932、表1-933、表1-934、表1-935、表1-936、表1-937、表1-938、表1-939、表1-940、表1-941、表1-942、表1-943、表1-944、表1-945、表1-946、表1-947、表1-948、表1-949、表1-950、表1-951、表1-952、表1-953、表1-954、表1-955、表1-956、表1-957、表1-958、表1-959、表1-960、表1-961、表1-962、表1-963、表1-964、表1-965、表1-966、表1-967、表1-968、表1-969、表1-970、表1-971、表1-972、表1-973、表1-974、表1-975、表1-976、表1-977、表1-978、表1-979、表1-980、表1-981、表1-982、表1-983、表1-984、表1-985、表1-986、表1-987、表1-988、表1-989、表1-990、表1-991、表1-992、表1-993、表1-994、表1-995、表1-996、表1-997、表1-998、表1-999、表1-1000

1. 社会動向

社会動向については、国や社会全体の動きに加え、本町の現状や課題を踏まえ、まちづくりに直結する視点で整理する予定です。

① くらし

国

第8次医療計画期間（2024年～2029年）の基本方針のもと、病院機能の分化・連携を進め、救急・災害・感染症に強い医療提供体制の構築と在宅医療・介護連携の拡大を図っています。併せて、地域医療構想に基づいて医師・看護師等の確保や医療DXを推進し、限られた病床資源の適正配置と有効活用を進める方針を示しています。

県

福岡県としては、国の基本方針を踏まえて第8次福岡県保健医療計画を策定し、広域連携のもと、医療体制の強化に取り組んでいます。在宅療養と入退院支援、多職種連携の体制整備を進めるとともに、医師・看護職等の人材確保策や、救急搬送および医療情報の共有基盤の拡充（医療DX）の取り組みを進めています。

町

築上町においては、人口1万人当たりの病床数が40床と低水準で、医療資源の拡充に加え、既存病床の機能分化と有効活用最適化が課題となっています。また、県内他自治体と比べて65歳以上の単身世帯比率が高く、独居高齢者に焦点を当てた在宅医療・見守り体制、入退院支援、生活支援や地域包括ケアの強化などへの重点的な資源配分が求められています。

② まなび

③ しごと

④ あんしん

1.社会動向

⑤ まち

⑥ きばん

2. 築上町の現状

●本町の概要

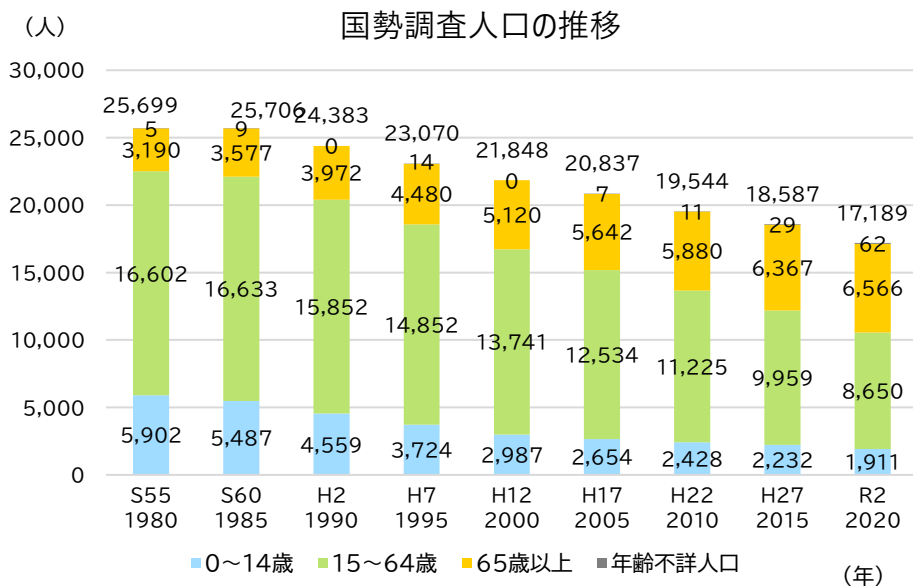
- 本町の概要
 - 本町は福岡県の東部、周防灘に位置し、北部は行橋市、東部は豊前市、西部はみやこ町、南部は大分県中津市に接しています。町の南は耶馬日田英彦山国定公園を含めた山間部が広がり、そこを源とする多くの河川が北部の平野を潤し、周防灘に注いでいます。
 - 北部を北西から南東にかけて国道10号及び東九州自動車道（椎田道路）が貫き、これらと交差して主要地方道や一般県道などが整備され、北九州市・大分市などの地方中核都市と連絡しています。また、北九州空港までは約20キロメートル圏に位置しており、恵まれた立地条件にあります。

●本町の魅力

- 本町の魅力
 - 国定公園内に位置する牧の原キャンプ場周辺は福岡県森林浴百選に選ばれています。また、国指定天然記念物である本庄の大楠を四季折々の彩り豊かな自然に恵まれたまちです。
 - 江戸時代から続く7つの神楽は豊前神楽として国の重要無形民俗文化財に指定され、古代からの窯跡を残す船迫窯跡公園や、炭鉱経営などにより繁栄した藏内家の住宅である旧藏内邸の庭園は、国の史跡・名勝に指定されています。
 - 本町は第1次産業が盛んで、物産館メタセの杜では地元で採れた豊富な農水産物や加工品など旬の味を取り揃えており、地元の食と自然の魅力・楽しさを満喫できるまちです。また、航空自衛隊築城基地があり、毎年秋に開催される「航空祭」には全国から多くの方が訪れています。

●人口推移

- 人口推移
 - 本町の人口は、昭和60(1985)年の25,706人をピークに減少を続けており、令和2(2020)年には17,189人となっています。
 - 年齢区分別人口の推移をみると、老年人口は現在も増加が進んでおり、令和2(2020)年の高齢化率は38.3%を占めるまで上昇しています。
 - 一方で、生産年齢人口・年少人口の減少が著しく、町内の労働力の不足、地域の担い手不足などの課題が懸念されます。

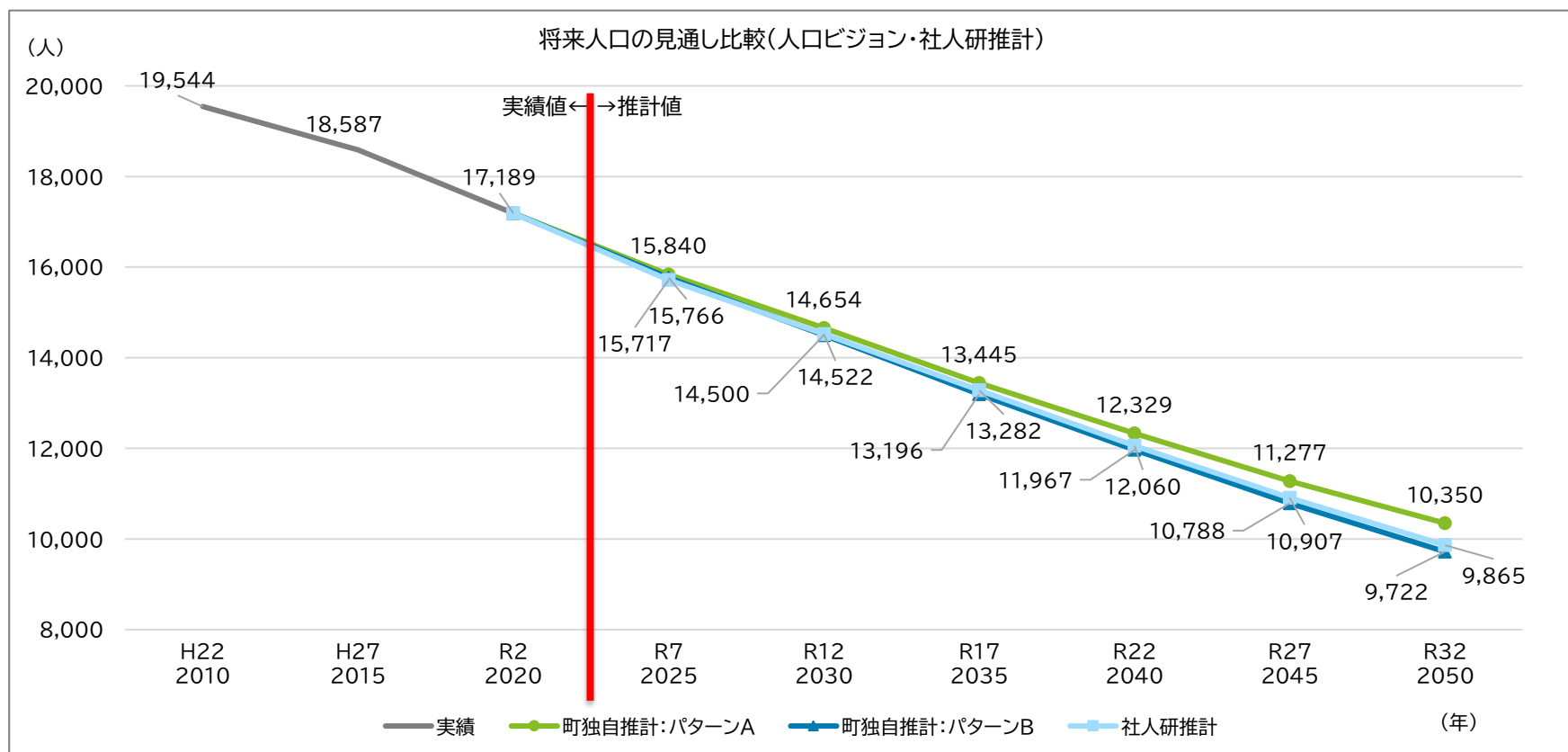


出典：総務省「国勢調査」

2. 築上町の現状

●人口推移

- 本町の人口見通しは、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）が推計している他、築上町人口ビジョンにて町独自推計を2パターン実施しています。
- 本町の人口見通しは、令和2（2020）年には17,189人となっており、人口ビジョンの町独自推計では令和32（2050）年に、パターンAで10,350人、パターンBで9,722人など見込んでおり、どの場合においても人口減少が継続していくものと見込まれます。



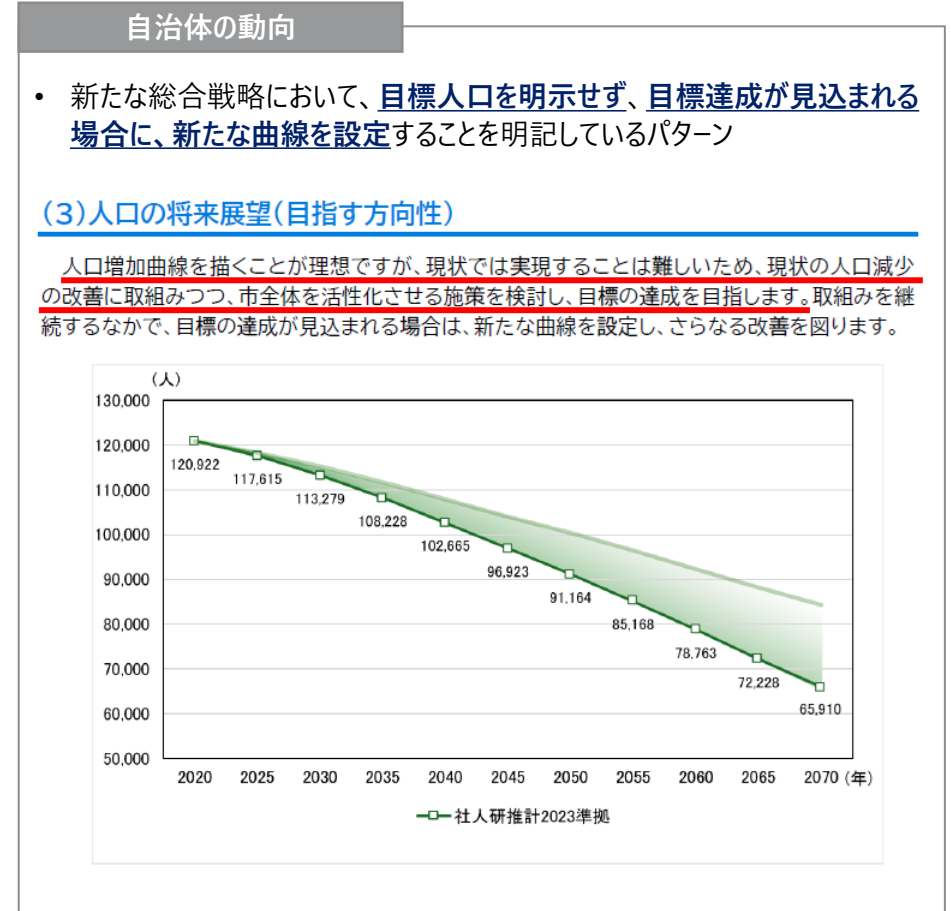
出典：築上町HP「築上町人口ビジョン（令和7年度改訂版）」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5（2023）年推計」

人口減少を前提とする国の方針転換や現実的な人口の将来展望の設定事例を踏まえ、次期計画に掲載する人口の将来展望は、複雑な条件設定や非現実的な仮定値設定をするのではなく、現実的な推計を示す想定です。

国や他自治体の動向

国の動向	
<ul style="list-style-type: none"> 国は「地方創生2.0基本構想」で、従来の<u>人口減少を押しとどめる方針</u>から<u>人口減少を前提に、人口規模が縮小しても社会・経済が機能する方針へ転換</u>しています 	
地方創生1.0 (まち・ひと・しごと創生総合戦略)	地方創生2.0 (基本構想)
2015年～	2025年～
人口と増減:1億2,709万人(▲14万人)	人口と増減:1億2,359万人(▲60万人)
出生数: 約100万人	出生数:(2024年約68万人)
<p>少子高齢化への対応、人口の減少に歯止め、東京圏への人口の過度の集中を是正、地域環境確保による活力ある日本社会を維持(まち・ひと・しごと創生法第1条)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>人口減少・地域経済縮小の克服</u> ・中長期展望として「2060年に1億人程度を維持」を提示し、<u>人口減少を押しとどめる</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口規模が縮小しても<u>経済を成長させ</u>、地方を元気にする ・少子化対策により今後の人口減少のペースが緩まるとしても、<u>当面の人口減少が続くことを正面から受け止め、適応策を講じる</u> ・<u>若者や女性にも選ばれる地方を創る</u>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合戦略の4つの柱 ・<u>人口減少を押しとどめる前提での施策展開</u> 1. 地方に仕事をつくり、安心して働けるようにする <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地方での雇用の創出が中心 ➢ 情報通信は当時の技術を前提(ICT・ブロードバンド等) 2. 地方への新しいひとの流れをつくる <ul style="list-style-type: none"> ➢ 東京から地方への移住施策が中心 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口減少を押しとどめる前提での課題解決・対応策 ➢ 地域連携は行政・生活サービス維持の観点 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本構想の政策パッケージの5本柱 ・<u>人口減少が進む中でも経済成長、地域社会を維持</u> 1. 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「若者・女性」への着目、人口減少が進む中でも社会を維持 2. 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口減少局面でも稼げる地方を創る(新結合による高付加価値化) 3. 人や企業の地方分散 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 関係人口を活かした都市と地方の支え合い 4. 新時代のインフラ整備とAI・デジタル等の新技術の徹底活用 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 生成AI活用や、半導体産業・データセンターの地方分散 5. 広域リージョン連携 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 自治体の区域を超え経済の観点でも官民連携のプロジェクト

(出典：「地方創生2.0基本構想について」(一部赤線で加工) 内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局)



(出典：「日本国はじめりの地 檀原」未来戦略(案) 檀原市総合政策審議会(令和7年11月4日) 答申資料 ※現在策定中)

3. 住民アンケート調査結果

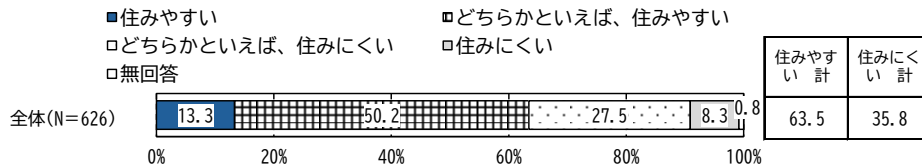
1. 住民アンケート

●調査概要

- 調査地域：築上町全域
- 調査対象：築上町在住の18歳以上の方2,000名を無作為抽出
- 調査方法：郵送による配布・回収 ※回収についてはインターネット回答の併用
- 調査期間：令和8年1月19日（月）～2月6日（金）
- 回収率：配布数 2,000件、回収数 626件、回収率 31.3%

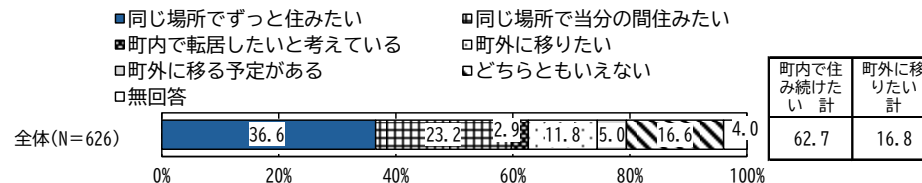
●まちの住みやすさ

- まちの住みやすさについて、「住みやすい」（13.3%）と「どちらかといえば、住みやすい」（50.2%）を合わせた『住みやすい』（63.5%）が6割強を占めています。一方、「どちらかといえば、住みにくい」（27.5%）と「住みにくい」（8.3%）を合わせた『住みにくい』（35.8%）は3割半ばとなっています。



●まちの定住意向

- まちの定住意向について、「同じ場所でずっと住みたい」（36.6%）は3割半ばとなっており、「同じ場所で当分の間住みたい」（23.2%）、「町内で転居したいと考えている」（2.9%）と合わせた『町内で住み続けたい』（62.7%）が6割強を占めています。一方、「町外に移りたい」（11.8%）と「町外に移る予定がある」（5.0%）を合わせた『町外に移りたい』（16.8%）は1割半ばとなっています。



3. 住民アンケート調査結果

● 施策の重要度・満足度

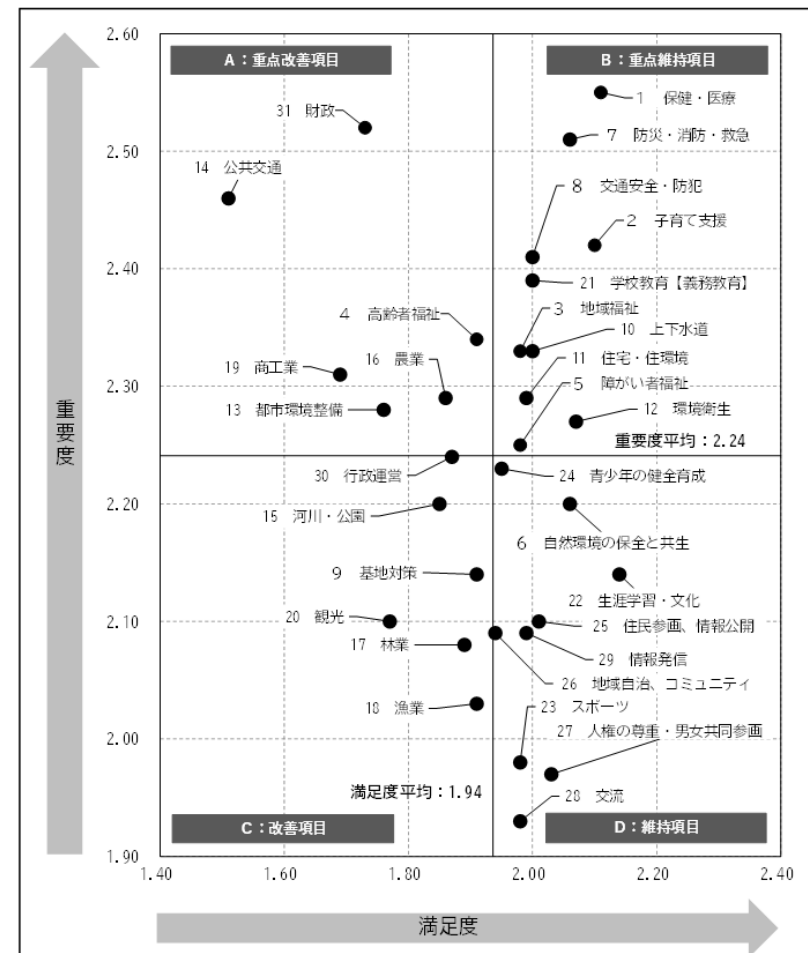
- 総合計画内の施策のうち、改善ニーズの高い施策は「高齢者福祉」、「都市環境整備」、「公共交通」、「農業」、「商工業」、「財政」となっています
- 31施策全体の中で満足度の高い施策は「生涯学習・文化」、「保健・医療」、「子育て支援」、「環境衛生」、「自然環境の保全と共生」となっています。一方、満足度の低い施策は「公共交通」、「商工業」、「財政」、「都市環境整備」、「観光」となっています。
- 31施策全体の中で重要度の高い施策は「保健・医療」、「財政」、「防災・消防・救急」、「公共交通」、「子育て支援」となっています。
- また、満足度と重要度の相関分析をすると、＜満足度が低く、重要度が高い＞最も改善ニーズの高い施策は「高齢者福祉」、「都市環境整備」、「公共交通」、「農業」、「商工業」、「財政」となっています。

【満足度・重要度の加重平均による評価点の算出】

以下に示す計算式により、各施策項目への満足度と重要度の選択肢に得点を付け、加重平均による評価点を算出しています。

■満足度：（「満足である」の件数×3＋「どちらでもない」の件数×2＋「不満である」の件数×1）／回答総数から無回答を除いた数

■重要度：（「重要度 高」の件数×3＋「重要度 中」の件数×2＋「重要度 低」の件数×1）／回答総数から無回答を除いた数



3. 住民アンケート調査結果

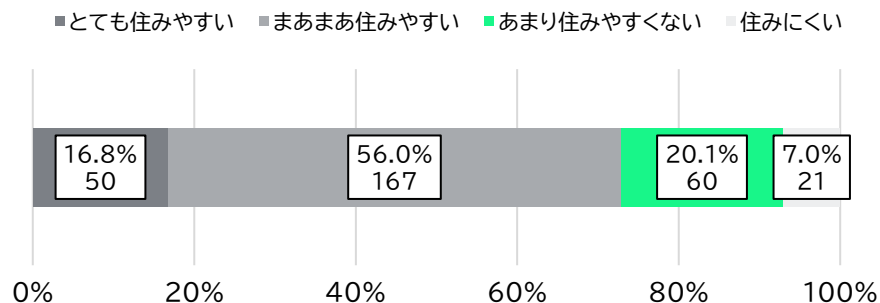
2. 中高生アンケート

●調査概要

- 調査地域：築上町全域
- 調査対象：築上町在住の18歳以下の若者世代（中学生、高校生、専門学生、就業者）を無作為抽出
- 調査方法：インターネット回答
- 調査期間：令和8年1月19日（月）～2月6日（金）
- 回収率：配布数 809件、回収数 298件、回収率 36.8%

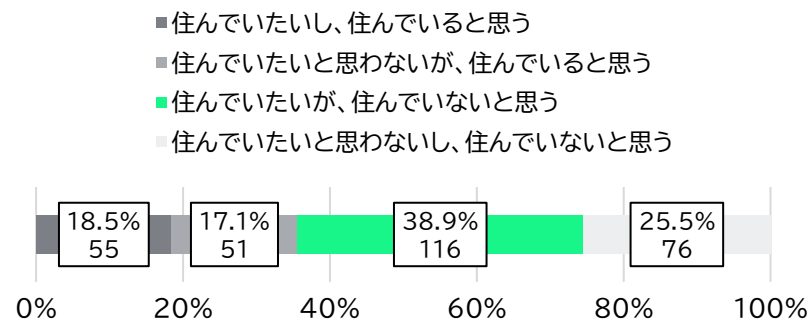
●まちの住みやすさ

- まちの住みやすさについて、「とても住みやすい」（16.8%）と「まあまあ住みやすい」（56.0%）を合わせた『住みやすい』（72.8%）が、「あまり住みやすくない」（20.1%）と「住みにくい」（7.0%）を合わせた『住みにくい』（27.2%）を大きく上回っています。



●まちの定住意向

- 10年後も築上町に住んでいる、住んでいたいと思うかについては、「住んでいたい、住んでいないと思う」（38.9%）と「住んでいたいと思わないし、住んでいないと思う」（25.5%）を合わせた『住んでいないと思う』（64.4%）が多数となっています。まちに住み続けたいという意向はあったとしても、進学や就職などで将来的に町を離れることを想定している中高生が多いことがわかります。



4. 第2次総合計画振り返り

●振り返り概要

- 第2次築上町総合計画では、6つの基本目標の下の各分野において、主要な取組方針を設定しています。本計画を策定するにあたり、第2次計画における主要な取組方針の進捗状況と今後の方針を評価・検証し、集計しています。

●計画施策の進捗／成果

- 主要な取組方針ごとに、現状の取組状況及び成果・課題を整理し、4段階（◎十分な成果 ○ある程度成果 △未成果・一部実施中 ×検討中・未実施）で評価しました。
- 主要な取組方針の記載のうち、十分な成果が13.3%、ある程度成果が65.6%、未成果・一部実施中が17.5% となっており、一定の成果を上げている（◎○）の割合は78.9%となります。

	◎	○	△	×	合計
	十分な成果	ある程度成果	未成果・一部実施中	検討中・未実施	
取組数	22	109	29	6	166
割合	13.3%	65.6%	17.5%	3.6%	100.0%

●次期総合計画に向けた方針

- 主要な取組方針ごとに、当該事業を継続して実施していくべきかを検討した結果を4段階（◎拡大、○継続、△見直し、×廃止）で評価しました。
- 主要な取組方針の記載のうち、拡大が13.3%、継続が79.5%、見直しが7.2%となっており、廃止の判断はありませんでした。

	◎	○	△	×	合計
	拡大	継続	見直し	廃止	
取組数	22	132	12	0	166
割合	13.3%	79.5%	7.2%	0.0%	100.0%

基本構想 骨子

1. 築上町の将来像（基本理念）

築上町の未来に向けたあるべき姿や進むべき方向性の指針とするため、まちの将来像を次のように定めます。

まちの将来像

XXX

将来像に込めた思い

XXX。

1. 6つの基本目標

築上町の将来像を実現するため、6つの基本目標を設定し、まちづくりを進めていきます。

基本目標1 暮らし

地域のつながりの中で、子どもを育み、自分らしく暮らし続けられるまち

- 母子保健・子育て支援から健康維持、生活習慣病予防、介護予防そして医療・介護に至るまで、人生の各段階に寄り添う包括的な支援を展開しています。
- 子どもを地域の宝として、すべての子どもと子育て家庭の育ちを地域みんなで支えることで、地域と保護者で負担と喜びを分け合っています。
- 高齢者や障がいのある方を含めた誰もが生きがいをもって活躍し、また、住み慣れた地域で住み続けられるような、体制を整備します。

基本目標3

ともに支え、ともに守る。地域の絆と備えにより、しなやかで強い安心のまち

- 安全・安心に暮らせるよう、防災・減災や危機管理体制の強化、老朽インフラの更新・耐震化、防犯カメラ等の新技術の活用を進めます。
- 自助・共助・公助の連携を軸に、自治会等の地域コミュニティと連携して、防災啓発や防災訓練、見守りや自主防災組織の活動を支援し、地域ぐるみで生命と暮らしを守ります。
- 基地という地域特性を踏まえ、住民の生活環境を最優先に、防音等の基地関連事業を国等と連携して進めます。また、交流事業や観光活用など、基地のあるまちならではの魅力創出・発信に取り組みます。

基本目標2 まなび

子どもから大人まで学び続けられる環境の中で、互いに認め合い、地域への誇りを育てるまち

- 確かな学力の定着と学ぶ意欲の向上を目指し、授業の充実と家庭学習の支援を進めます。また、児童生徒一人ひとりに応じた学びを充実させるため、地域と連携した多様な体験をできる機会を設け、地域で支える教育体制を整えます。
- 子どもから高齢者まで誰もがスポーツや文化芸術に親しみ、参加し、生涯にわたって学び続けられる環境づくりを推進します。新たな文化・芸術の創造を後押しするとともに、学びの成果を発表・実践できる機会を確保します。また、生涯学習を通じて、健全な成長と、人権尊重や相互の理解といった価値観の醸成を図ります。
- 地域の歴史・伝統・文化資源を守り活かし、見学・体験・発信の機会を整備します。住民参加型の取組により、地元への誇りと愛着の醸成を図ります。

基本目標4 しごと

地域の資源と人の力を活かし、若者が活躍でき、稼ぎ・循環する経済が根付くまち

- 住民・関係団体等と連携し、基盤整備、経営力強化、6次産業化を総合的に推進し、地域が自立的に稼ぎ、地域経済を牽引する体制の構築と、持続可能な地域経済の活性化を図ります。
- 地域資源を活用し、地域への愛着を通じて、地産地消の推進と地域内での生産・消費の循環の強化や、地域ブランドの育成・発信を進めます。
- あわせて、企業誘致、創業支援を一体的に進め、新技術・デジタルの活用による生産性向上を図り、雇用の場の創出とそれに伴う移住・定住を促進します。

基本目標6 きばん

開かれた行政と住民、地域の多様な主体が対話し、ともにつくる持続可能なまち

- 住民・行政が一体となった「協働×共同」の体制のもと、住民が主体的に意思決定し自ら担えることは自ら担い、行政はサポート役として自立を後押しする仕組みを整え、地域全体で課題解決を行うまちの実現を目指します。
- 限られた行政資源を効果的に活用するため、必須・得意分野への選択と集中を進めるとともに、事業の見直しや公共施設の適正化、広域連携等を進めます。また、ICT・AI等による業務効率化を拡大し、行政コストを抑えつつ人手不足を補完し、効率性と持続可能性を両立した、先進例となる自治体を目指します。

基本目標5 まち

豊かな自然と暮らしが調和し、コンパクトで住みやすいまち

- 地域資源の調和を基盤に、将来を見据えた持続可能なまちづくりを展開します。人口減少やインフラ老朽化に対し、新技術を活用しながら、コンパクトな市街地形成と生活拠点の機能強化を進め、生活環境の維持・高度化を実現します。
- また、道路ネットワークの整備・維持と公共交通の利便性向上により交流を促し、快適で安心して暮らせる環境の維持・向上に努めます。
- 町の個性である「森・谷・川・海」の調和を守り育てるため、保全と活用のバランスを重視し、誰もが安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。また、ごみの発生抑制、再利用・資源化の拡大などを徹底し、他分野連携による循環の仕組みを構築します。

2. 施策体系イメージ

	基本目標	取組範囲
町の将来像 XXXXX	<p>【くらし】 地域のつながりの中で、子どもを育み、自分らしく暮らし続けられるまち</p>	健康づくり、子育て、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉
	<p>【まなび】 子どもから大人まで学び続けられる環境の中で、互いに認め合い、地域への誇りを育てるまち</p>	教育、歴史・芸術文化、生涯学習・スポーツ、人権・多様性の尊重
	<p>【あんしん】 ともに支え、ともに守る。地域の絆と備えにより、しなやかで強い安心のまち</p>	暮らしの安全、基地との共生、地域自治・コミュニティ
	<p>【しごと】 地域の資源と人の力を活かし、若者が活躍でき、稼ぎ・循環する経済が根付くまち</p>	農林水産業、商工業、観光業
	<p>【まち】 豊かな自然と暮らしが調和し、コンパクトで住みやすいまち</p>	都市基盤、上下水道、環境
	<p>【きばん】 開かれた行政と住民、地域の多様な主体が対話し、ともにつくる持続可能なまち</p>	住民参画・協働、行政経営、広域連携

① 検討軸ごとに、それぞれの基本目標案も加味したまちの将来像案を検討しました。

① 検討軸と将来像案

	まちの将来像案	検討軸	概要説明
1	豊かな自然と地域の絆を次世代へ。住み続けたいまち 築上町	①住民愛着度向上	より築上町に誇りや愛着を持てるよう、地域のつながりの中で子どもを育み、学びを通じて郷土への理解を深めるとともに、支え合いと安心の基盤を大切にします。 また、豊かな自然や地域資源を生かした暮らしやすい環境づくりを進めることで、「住みたい・住み続けたい」と感じられるまちを実現し、内外に築上町を好きな人を増やしていきます。

	まちの将来像案	検討軸	概要説明
2	幸福の好循環を築き、誰もが自分らしく輝けるまち 築上町	②生活の質向上 × 幸福度	人口減少や社会環境の変化が進む中においても、暮らし・学び・仕事・安心の各分野を横断的に高めることで、生活の質と幸福度の向上を図ります。 地域資源や人の力を生かした持続可能な経済循環と、誰もが自分らしく活躍できる環境づくりを進めるとともに、行政と住民、多様な主体の連携により、日々の暮らしの満足度（ウェルビーイング）を高めていきます。

	まちの将来像案	検討軸	概要説明
3	豊かな自然と人のぬくもりの中で、自分らしく輝けるまち	①×② ミックス	豊かな自然と人のぬくもりに包まれた環境の中で、地域のつながりや学びを通じて愛着と誇りを育みながら、誰もが自分らしく暮らし、活躍できるまちを目指します。 また、支え合いによる安心の確保と、資源を生かした持続可能な経済・生活環境の充実を図ることで、愛着と幸福度が相乗的に高まる、持続可能で魅力ある築上町を実現します。